

地域づくり新聞 く東能ヶ田区く

平成29年1月発行

No.5

東能ヶ田町内会

インタビュー



たがさぼスタッフの聴き取りに答える皆さん／東能ヶ田集会所

平成28年11月25日、多賀城市市民活動サポートセンター（以下、たがさぼ）のスタッフが東能ヶ田集会所で行われた役員会におじゃまし、今野文雄区長さんをはじめとする役員の方々に、町内会活動や地域の状況について、インタビューさせていただきました。

*

たがさぼは、町内会・自治会、NPOなど地域で活動する団体、個人を応援する施設です。今回、伺った町内会活動や地域の状況は、貴重な参考事例として、多賀城の地域づくりに活かして参ります。

住民の縁をつなぐ

ジャンボのり巻き大会

毎年12月に開催するジャンボのり巻き大会は、多くの住民が参加する東能ヶ田区の恒例行事です。できたのり巻きは、当日参加できなかった80歳以上の方へお届けしています。ひとつの行事が住民同士の縁をつなぎ、交流や高齢者の見守りなどに繋がっています。



のり巻きの長さは約7m。完成後、会場は笑顔であふれていました。

地域の交流を育む

カラオケ機器と音響設備

東能ヶ田集会所には、13万もの楽曲が入ったカラオケ機器と音響設備があります。町内会の夏祭りや老人クラブの演芸大会、地域のサークルなど、さまざまな場面で活躍しています。また、隣の地区へ貸し出しするなどで、地域間の協力関係が生まれています。



さまざまな音響設備が充実しています。

これからの地域

長く安心して暮らせる

地域を目指して

みんなの東能ヶ田集会所

一緒に考えたい

東能ヶ田区は、昭和17年に開庁された海軍工廠（※）で働く工員住宅があった地域です。転入や転出が少なく、長年住んでいる方が多いです。また顔見知りも多く、ご近所付き合いもあることから、町内会行事への参加率も高いそうです。

町内会では、「誰もが長く安心して住める地域」を支えるため、80歳以上の方には民生委員、区長、婦人会、食生活改善推進員が自宅を訪問し、顔を見て話すことで、普段から声掛けし合える関係をつくっています。

このように、さまざまな行事・取組を行いながら、住民同士の関係を深めます。

東能ヶ田集会所は閑静な住宅地の中にあり、目の前にある公園は道路に面していないので、子どもも安心して遊べます。昨年度の利用者数はのべ1200名で、町内会や子ども会の行事や会合などに利用されています。自慢のカラオケ・音響機器を備えていることから、歌のサークルなど、定期的な利用につながっています。



この四コママンガは、地区のみなさんから伺ったお話を参考に、たがさぼスタッフが制作しました。たがさぼちゃんは、たがさぼのイメージキャラクターです。

集会所の活動紹介



入会希望者見学OK！
参加者募集中です！

多賀モリ体操の様子

多賀モリ体操とおしゃべり会
住民の健康寿命促進のため、多賀モリ会の佐藤信子さんが中心となり活動しています。誰でも参加でき、毎週第2・4木曜日の13時30分～15時、集会所で開催しています。



東能ヶ田集会所

多賀城市市民活動サポートセンター
(たがさぼ) ってどんなところ？

町内会・自治会、NPO、ボランティア団体など地域づくりのために活動する人たちの拠点施設です。市民の力による、地域の「困った」を解決する活動やまちの魅力を高める活動をサポートしています。